

活動（②自然と生き物と命）

絶滅危惧種について調べてみる

図鑑や本で絶滅危惧種について調べ、知識を深める。

準備したもの ・ 図鑑、本

○活動内容

図鑑や本で絶滅危惧種について調べ、知識を深める。

○保育者の問いかけやアプローチ

絶滅危惧種に高い興味関心を示す姿が見られたので、探求心をもってさらに活動を深めていけるように新しく絶滅危惧種についての本を用意した。また、子どもたちの気づきや発見、疑問に共感し、声や姿を拾っていきながら活動を深めていけるようにした。

○子どもの様子

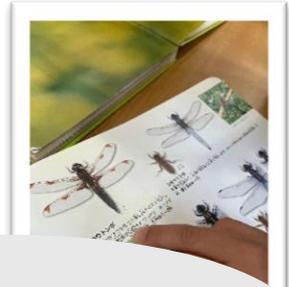
日頃から生き物が好きで図鑑をよく見ている子が、先日の活動から絶滅危惧種に高い興味関心をもち、友だちと一緒に図鑑で調べてみる姿が見られた。また、家族で多摩川に行った際に絶滅危惧に関するポスターを目にしたことから、動物以外にも絶滅危惧種に指定されている昆虫や魚、植物があることを知り、関心を広げ、探求する姿が見られた。「ここに絶滅危惧種って書いてあるよ！絶滅危惧種になっている動物とか虫とかってたくさんあるんだね！」「地球温暖化で水が熱くなっちゃうから干からびちゃうんだって」「水辺が減って、トンボも絶滅危惧種になったんだって！」と気づきや発見を共有しながら夢中になって調べていた。調べていく中で、子どもたちの中でみんなにも知ってほしいと気持ちが芽生え、紙芝居や図鑑を作って紹介するのはどうかという意見が挙がり、グループタイム（集まり）で紹介することになった。



家で絶滅危惧種を調べてきたよ！



水辺が減って、トンボも絶滅危惧種になったんだって！



振り返り

「水辺が減って、トンボも絶滅危惧種になったんだって！」という子どもたちの気づきから、職員間でも話題になり、ビオトープなど日頃から子どもたちが自然に触れられるようなものがあるとよいのではないかと感じた。また、一部の子供たちは主体的に絶滅危惧種に関する探究活動が進んだが、クラス全体の継続的な探究活動のためには、グループタイムで共有することがとても良かった。